

令和3年度 島根県学力調査結果の概況について〈江津市〉

1. 小学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・小5, 6 国語・算数は島根県調査のため県平均値と比較
- ・小3, 4 国語・算数, 小5, 6 社会・理科は江津市独自実施（東京書籍標準学力調査）のため目標値と比較
- ＊目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	小3		小4		小5				小6			
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	社会	理科	国語	算数	社会	理科
江津市	67.3	60.7	62.2	63.3	65.1	63.5	65.5	63.1	62.9	63.6	71.5	62.9
島根県					63.0	58.9			66.3	66.1		

国語	【小3、4、6】目標値を下回り、特に「文章を書く」に課題がある。 【小5】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが「言葉の学習」に課題がある。
算数	【小4、5】目標値とほぼ同程度、県平均を上回り概ね良好な状況である。 【小3】目標値を下回り「10000 より大きい数」「かけ算」に課題が見られる。 【小6】県平均をやや下回り「拡大図と縮図」「比と比の値」に課題がある。
社会	【小5】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが、「日本の水産業」に課題がある。 【小6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが、領域「政治」に課題がある。
理科	【小5】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況であるが、「植物の花のつくりと実」「流れる水のはたらき」に課題がある。 【小6】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。

【意識調査結果】

強み	・平日1時間以上勉強する児童の割合が高い。(3、4、5年) ・「学校が好きである」と回答した児童の割合が県を上回る。(5、6年) ・「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたり、やってきた宿題にコメントをしてくれたりしている」と回答した児童の割合が県を上回る。(5、6年) ・「自分は友だち、先生、家の人から認められている」と思う児童の割合が高い。(3、4年)
弱み	・『総合的な学習の時間』では集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する活動に取り組んでいる「授業で学んだことを他の学習で生かしている」と回答した児童の割合が県を下回る。(5、6年)

2. 中学校

【各教科調査結果】平均正答率(%)

- ・中1, 2 国語・数学・英語は島根県調査のため県平均値と比較
- ・中1, 2 社会・理科は江津市独自実施（東京書籍標準学力調査）のため目標値と比較
- ＊目標値とは、東京書籍による学習指導要領に示された内容について正答できることを期待した児童・生徒の割合を示したものです。

	中1					中2				
	国語	数学	英語	社会	理科	国語	数学	英語	社会	理科
江津市	59.1	55.4	49.3	56.9	58.5	60.0	55.1	41.4	63.6	57.4
島根県	58.9	53.1	52.7			60.3	51.8	44.3		

国語	【中１、２】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。「文章を書く」に課題がある。
数学	【中１、２】県平均値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。
社会	【中１】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。 【中２】目標値を上回り、大変良好な状況である。
理科	【中１、２】目標値とほぼ同程度で概ね良好な状況である。
英語	【中１、２】県平均値をやや下回り「語形・語法の知識・理解」に課題がある。

【意識調査結果】

強み	・『総合的な学習の時間』では集めた情報を課題に沿って整理して考え、発表する活動に取り組んでいる」「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が県を上回る。 ・「学校図書館を使った授業は、ほかの授業を行うときにも役立っている」と回答した生徒の割合が県を上回る。 ・「先生は家庭学習の仕方についてアドバイスしたりやってきた宿題にコメントをしてくれたりしてくれる」と回答した生徒の割合が県を上回る。
弱み	・「授業で学んだことを他の学習に生かしている」と回答した生徒の割合が県を下回る。

3. 今後の対応

◇成果・課題の把握と個別指導の充実

- ・各校において学力の成果（強み）や課題（弱み）について把握し、結果に基づいた補充学習や発展学習等の個別指導を充実させる。組織的な対策を立てて児童生徒への学習内容の定着を図る。また、次年度の担任及び教科担当者へ対策を確実に引継ぎ、指導する。

◇授業の質の向上

- ・身に付けさせたい力が学習を通じて適切に育まれているのか常に確認しながら、指導の改善、充実を図る。また、自分の考えを根拠をもって説明したり、友だちと比較・検討したり、他の教科や日常生活において活用したりするなど、学びを深める場の工夫を取り入れる。
- ・「各教科調査結果」「生活・学習に関する意識調査」をもとに今年度各校で取組んできた「授業改善アクションプラン」の検証を行うことで、今後の指導方法等に対する組織的改善を図る。

◇家庭学習の充実

- ・授業と関連する課題や、タブレットドリル等を活用した子どもたちの自主的な計画に基づく課題等も入れながら、家庭と連携し、学習の質の向上、習慣化を図る。

◇学校訪問の実施

- ・指導主事による県学力調査結果をふまえた指導改善に関わる学校訪問を市内全校において実施し、組織的指導改善や個別指導の充実に向けて働きかける。